



2017 年臨床漢方薬理研究会大会 (第 113 回例会)

テーマ

生涯健康に向けた取り組み
「心身一如の健康科学」

プログラム

10時30分 ~ 17時

進行 神戸学院大学栄養学部教授 小野坂 敏見

10時30分

「漢方薬の薬理の研究からわかったこと

そして、これから研究する人に向けて」

元昭和薬科大学教授 田代真一

12時30分 ~

現代人の健康管理

「セルフメディケーション」と「セルフプリベンション」のはなし

近畿大学薬学総合研究所教授 森川敏生

「アジア伝統処方に見る時代変遷と近代漢方科学へのヒント」

近畿大学東洋医学研究所講師 日置 智津子

「緩和医療の現場から見る生命倫理」

京都医療センター呼吸器内科

西本願寺あそか診療所院長 川上 明 他
敬称略

16時20分~

交流会

ご案内

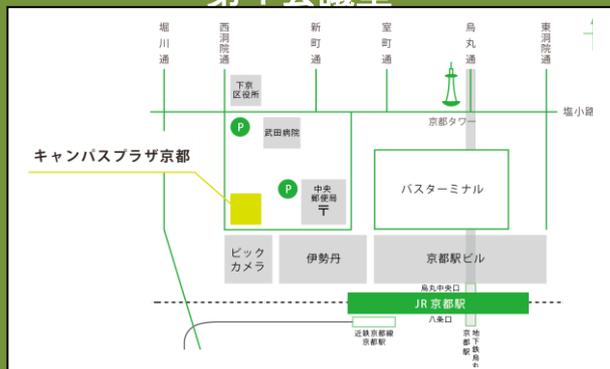
今年の私達の生活を振り返ると、移ろう季節を味わい、ゆっくりとした“情緒”を意識して過ごしたという印象よりも、天候や社会的事象において、変化の波に流されたような激動のシーンが多く思い起こされるのではないのでしょうか。

さて 2017 年、第 113 回臨床漢方薬理研究会のご案内を申し上げます。著しい変動の時代こそ、時間が流れるように過ぎていくようです。様々な変化に対応して心も身体も変化します。健康とは、一定の恒常性が保持できる心身の柔軟性があること。変化というストレスを味方につけることが求められる時代なのかもしれません。ストレス症状に近年使用される香気成分は時代を遡り、そして近代漢方薬にも配合されています。長い歴史に育まれた伝統医薬を解析すると、時代と、そこに生きた人間の心身が見え、新しい気づきがある。つまり未科学を紐解くカギがあります。いかに科学するか？温故知新の実践法を“現代の私達の悩み”から探ります。

日時
2017 年 12 月 17 日
(日) 10 時 30 分

会場

キャンパスプラザ京都
第 1 会議室



〒600-8216 京都府京都市下京区東塩小路町 西洞院通塩小路下る東塩小路町 939

電話：075-353-9111

研究会参加費：3000 円

交流会参加費：500 円

連絡先

臨床漢方薬理研究会代表 日置智津子
近畿大学東洋医学研究所

〒589-8511 大阪狭山市大野東 377-2

FAX：072-366-6661

TEL：072-366-0221 (3304)

E-MAIL:chioki@med.kindai.ac.jp

60 名限定です。事前にお申込み下さい。

主催 臨床漢方薬理研究会

共催 近畿大学東洋医学研究所

後援 京都府薬剤師会

京都府女性薬剤師会

日本生薬学会

薬剤師研修センター集合研修会

(研修認定薬剤師/漢方薬・生薬認定薬剤師)

師：集合研修3単位)